



受付日：令和4年1月13日
 受付番号：HP22-KIT07
 株式会社 確認検査
 東京都港区海岸1丁目1-7
 ニューヒア竹芝ノースタワー4階
 ハウスプラス確認検査株式会社
 代表取締役社長 坂 嶺 義 夫

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 令和4年4月28日

1. 接合金物名称	ボルダ30凸	
2. 試験依頼者	株式会社 住宅構造研究所 〒340-0815 埼玉県八潮市八潮3-16-4	
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。	
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(隅柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。	
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「ボルダ20凸」 材質: SS400(JIS G 3101) 寸法: (外形)29mm×75mm×219.5mm t=4.5mm(ベース部)、t=3.2mm(コの字部) 接合具用孔 8-φ6.5mm 表面処理: 電気亜鉛めっき+有色クロメート(JIS H 8610)</p> <p>「エルダ15」 材質: SS400(JIS G 3101) 寸法: (外形)30mm×42mm×79.5mm t=4.5mm 接合具用孔 8-φ6.5mm(柱側)、3-φ6.5mm(土台側) 表面処理: 電気亜鉛めっき+有色クロメート(JIS H 8610)</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側: 「HL-H75」ボルダ20凸側8本 エルダ15側5本 材質: SAE 1022* 寸法: 胴径φ6mm×L75(ねじ部L60)mm ねじ山P=3mm 頭部φ12.3mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4.5mm 表面処理: 電気亜鉛めっき(JIS H 8610)</p> <p>土台側: 「HL-H90」3本 材質: SAE 1022* 寸法: 胴径φ6mm×L90(ねじ部L75)mm ねじ山P=3mm 頭部φ12.3mm ねじ山径φ6.2mm ねじ谷径φ4.5mm 表面処理: 電気亜鉛めっき(JIS H 8610)</p> <p>「HL-TN12(M12ツインナット)」1個 材質: 強度区分4T以上に適合する炭素鋼(JIS B 1181) 寸法: ナット部:M12 座金部:t=3.5mm、外径22.95mm 表面処理: 電気亜鉛めっき(JIS H 8610)</p> <p>「HL-W/S(平座金)」1個 材質: SPCC(JIS G 3141) 寸法: 外径φ26mm 内径φ12.5mm t=2.3mm 表面処理: 電気亜鉛めっき(JIS H 8610)</p> <p>「HL-W10(角座金50×50)」1個 材質: Q235B(GB/T3274-2017) 寸法: 50mm×50mm t=6mm ボルト用孔 1-φ14mm 表面処理: 電気亜鉛めっき(JIS H 8610)</p> <p>「ジョイントナットM12」1個 材質: SWCH10R(JIS G 3507) 寸法: M12 L=40mm 表面処理: 電気亜鉛めっき(JIS H 8610)</p> <p>「M12全ねじボルト」1本 材質: SS400(JIS G 3101) 寸法: L=330mm 表面処理: 電気亜鉛めっき(JIS H 8610)</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱材: 105mm×105mm×900mm スギ 無等級材 含水率: 11.0~12.5% 全乾密度: 0.37~0.39g/cm³</p> <p>土台材: 105mm×105mm×507.5mm スギ 無等級材 含水率: 11.5~12.0% 全乾密度: 0.39~0.42g/cm³</p> <p>*1 米国内自動車技術者協会が定める規格</p>	
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体は、柱芯より土台木口側に200mmの位置でHL-W10(50mm×50mm,t=6mm)及びM12ボルト・ナットを用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値:20N・m) また、ボルダ20凸と鉄骨架台は柱芯より土台木口側に118.3mmの位置でトルク管理値20N・mにて緊結し、加力時に試験体の偏心を防止するためのサポート治具を設けた。	
7. 試験結果	短期基準接合耐力 34.9 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)	
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番	
9. 試験実施日	令和4年2月9日	
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 工藤 健	

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。

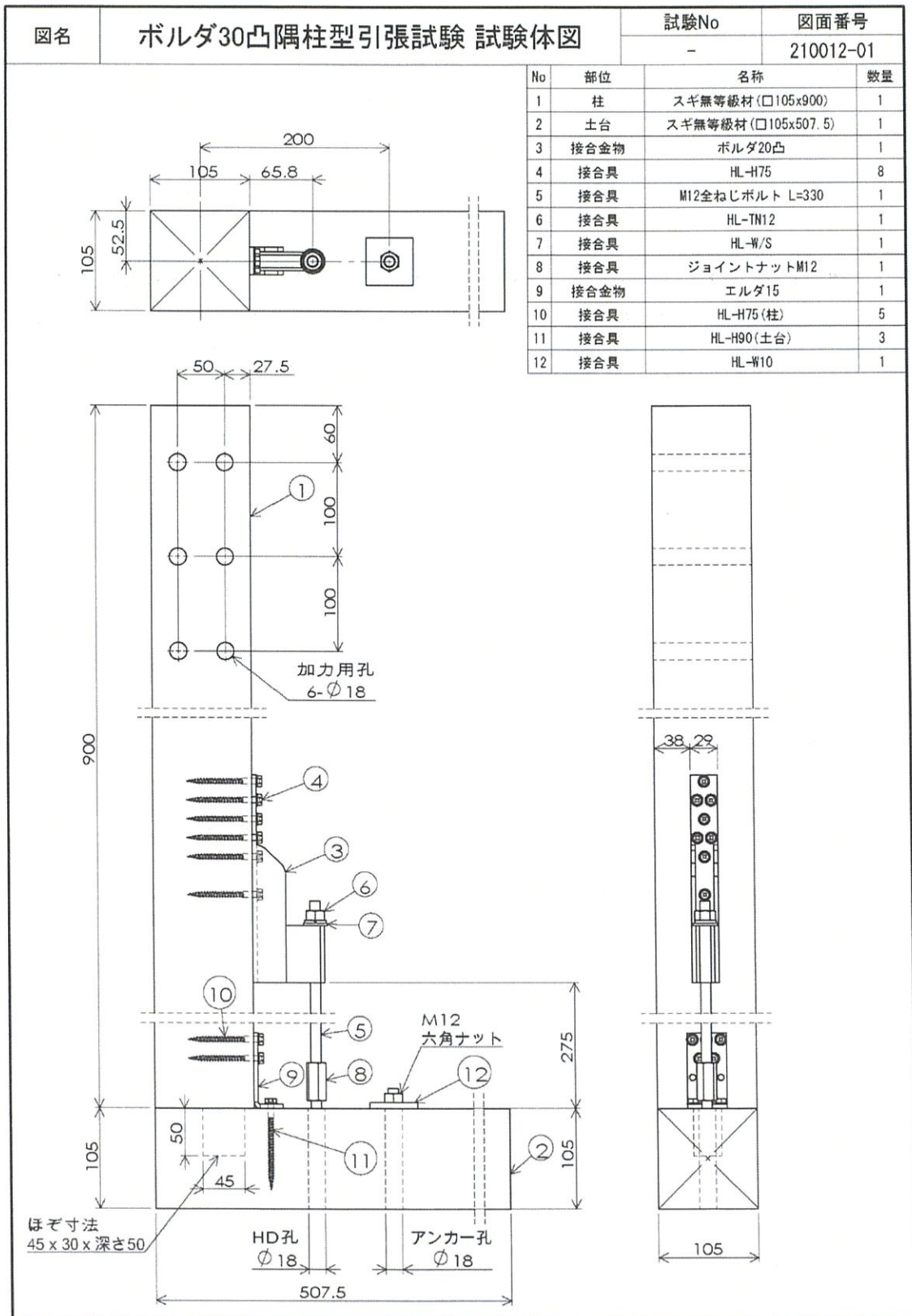


図 3.1 試験体図 (単位: mm)